

たかねやま

校長 横山 美智代

～「ど根性ひまわり」咲き誇る～

6月に地域の皆様からいただいた「ど根性ひまわり」の種が、根本小学校の花壇で芽を出し、一斉に咲き始めました。2ヶ月間育てながら感じたことは、どんな環境下でも芽を出そうとする生命力、どんなに強い風が吹いて倒れそうになっても、翌日にはまっすぐに伸びようとする「ど根性ひまわり」のたくましさです。2011年の東日本大震災に負けず、人々の手によって今日まで咲き続けてきたこのひまわり。根本小学校でも、このひまわりのように、どんなことがあっても大空を見上げながら力強く粘り強く前に進む気持ちを大切にしていきたいと思っています。



また、絵本「ど根性ひまわりのき～ぼうちゃん」にあるように、東日本大震災を風化させることなく、自然災害から命を守る大切さも引き続き指導していきたいと思っています。

夏休み中の見守り・草刈りのお礼

38日間の夏休みが終わり、無事に学校生活を始めることができました。夏休み中、保護者の皆様や地域の皆様には、たいへんお世話になりました。心よりお礼申し上げます。

夏休み中に「ねもと地域力」と「勝手にお手伝い隊」の皆様は敷地内の草刈りをしていただきました。すっきりした環境の中、児童が安心して生活できることにお礼申し上げます。



登下校時の

「ながら見守り」のお願い

今年の夏は本当に暑い夏でした。9月に入っても暑い日が予想されています。学校としても引き続き熱中症への対応をしっかりと行っていきます。

熱中症で一番心配する時が、児童の登下校です。児童一人一人の命を守り登下校時の熱中症対策や安全を確保するため、「ながら見守り」のご協力をお願いします。子どもたちの登下校に合わせて、散歩や買い物などをしていただくなど、地域や保護者の皆様には引き続き子どもたちを気にかけて、目をかけ、児童に異変がある時にはぜひ声をかけていただくようお願いします。



親育ちコーナー

心の中のエネルギータンク①

親育ち4363たじみプラン 事務局

夏休みが終わりました。わくわくしている子、どきどきしている子、つらい子。今のありのままのスタートラインを大切に、その子が、実りの秋に向けて、一歩前に踏み出そうと願うとき、その原動力となる心のエネルギーは、いったいどこから来るのでしょうか。

自動車のガソリンタンクのように、子どもたちの心の中に、かれらの活力を支えるエネルギータンクがあるとイメージしてみます。

「行ってきます」と、お家という安全地帯から外へ出ると同時に、その子の心のエンジンが回転し始めます。笑顔で登校しているときも、教室で穏やかに過ごしているときも、校庭で楽しく遊んでいるときも、タンクの中のエネルギーは消費され続けます。まして、嫌なこと、つらいことがあれば、それに耐えようと、心のエンジンの回転数を上げるため、消費量はぐっと増えます。そうして一日生活し、心のエネルギーをほとんど使い果たして、自動車で言えば、emptyランプが点灯した状態で、その子はお家へ帰ります。「ただいま」と声を出すことさえつらい日もあるでしょう。

そんなその子に、私たちができることは何でしょう。(次回に続きます)

(教育推進課 家庭教育担当)